

モンクロキイロナミシヤク チョウ目シヤクガ科

Stamnodes danilovi sugitanii Prout

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

国内における分布が限定され個体数も少ない。本県が分布の西限にあたる。

形態

開張28mm内外である。前後翅とも地色は橙色で黒く縁取られ、翅中央部に黒斑を有し、鮮やかな色彩をしている。

国内分布

北海道中部の山地、本州の関東北部から中部地方の亜高山帯や高山帯に分布する。

県内分布

白山の観光新道上部の亜高山帯および釈迦岳山頂付近で確認されている。

生態

成虫は7月下旬から8月上旬にかけて発生する。昼飛性の蛾で、富山県の立山では高山植物の花で吸蜜しているのを見かけたことがある。幼虫の食餌植物としてミソガワソウが記録されている。

生息地の条件

高山植物の豊富な亜高山帯の草原が分布中心域と思われる。

生存の危機

目立つ色彩の蛾であるが、目撃例が少なく、個体数は多くないものと思われる。亜高山帯から高山帯下部の高茎草原の環境改変は避けるべきである。(A)

特記事項

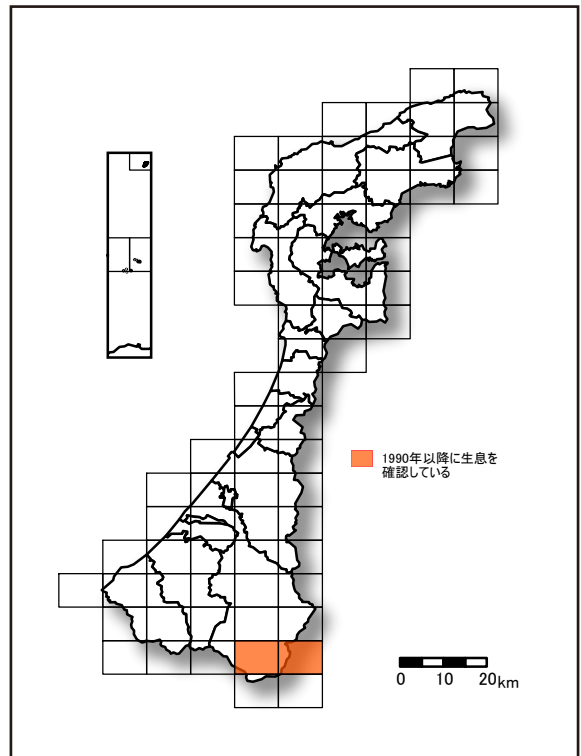
本種の生息地は白山国立公園の特別保護地区内にある。

参考文献

西尾規孝 1986. 木曾山脈将基頭山付近に生息する蛾類の生態. 誘蛾燈, (105) : 75-90.



標本提供者: 富沢章



県内の分布